

## 令和4年度 百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議 事業報告

令和4年度においては、次の通り事業を実施した。

### I 保存活用会議運営にかかわる総合調整事業

#### 1 保存活用会議の運営

- 令和4年5月13日  
第6回百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議（書面開催）
  - ・下記について承認  
(議案)
    - (1) 令和3年度決算について
  
- 令和5年3月27日（予定）  
第7回百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議（書面開催）
  - ・下記について承認  
(議案)
    - (1) 令和4年度事業報告について
    - (2) 令和5年度事業計画・予算について
  - (報告)
    - (1) 令和4年度決算見込みについて

#### 2 同会議専門部会の運営

保存活用会議規約第9条第9項に基づく資産専門部会、緩衝地帯専門部会、来訪者対策専門部会の3つの専門部会を運営し、今後の保存管理のあり方等について検討を行った。また、各部会において、モニタリングを実施し、2022（令和4）年次報告書を作成した。

##### ① 資産専門部会の取組

- ・墳丘安定性調査を実施
- ・水質調査を実施
- ・国際専門家会合開催に向けての資料作成等
- ・各市で実施する構成資産の調査や整備事業の内容について情報を共有

##### ② 緩衝地帯専門部会の取組

- ・各市における事業について、世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」遺産影響評価マニュアルに基づき、遺産影響評価手続きの内容を検討

- ・羽曳野市本庁舎建替整備事業については、遺産影響評価書案を作成

### ③ 来訪者対策専門部会の取組

- ・登録後の来訪者の動向分析
- ・「世界遺産『百舌鳥・古市古墳群』デジタルマーケティング事業」の実施
- ・百舌鳥・古市古墳群ホームページ内動画特設ページの新設
- ・各種 PR ツールの改訂

## II 学術検討・条件整備事業

### 1 ユネスコ等への情報提供、報告

- ・追加的勧告への対応（※英文による）

第43回世界遺産委員会の登録決議文で示された追加的勧告のうち、対応や進展のあったもの、あるいはイコモスからのテクニカルレビューに回答する必要があるものとして、峯ヶ塚古墳の緩衝地帯、周辺環境における保護対象とその手段、遺産影響評価手法の開発について、報告文作成と英訳作業を行い、文化庁へ令和5年2月9日に提供した。また、非破壊での墳丘の構造的安定性評価、ガス気球の試行運行、南海高野線連続立体交差事業にかかる遺産影響評価について、令和5年3月24日に文化庁へ提出。（予定）

- ・保全状況報告書の作成

文化庁からの依頼に基づき、資産の現状およびその保存管理の概況等をまとめる『世界遺産一覧表記載資産保全状況報告書』を作成し、令和5年3月24日に提出。（予定）

### 2 遺産影響評価について

追加的勧告で求められた「遺産影響評価の手続き」によって策定した世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」遺産影響評価マニュアルに基づき、各市で計画された事業について遺産影響評価手続きを実施した。

### 3 資産保存管理事業

- ・墳丘安定性調査の実施

世界遺産委員会登録決議文の追加的勧告d)「非破壊で墳丘の構造的安定性を評価するための手法について検討すること」への対応のため、14基の構成資産を対象として、現地踏査及び測量図・航空写真等の判読等による墳丘安定性調査を実施した。その結果、今後生じうる墳丘崩壊のリスクが明らかになるとともに、令和2年度「百舌鳥・古市古墳群地盤調査方法比較検討委託業務」で調査対象とした7基の古墳も含めた計

21 基の古墳について、客観的に適用できるリスク分析の尺度を得た。

#### ・水質調査の実施

世界遺産委員会登録決議文において濠の水質が資産にネガティブな影響を与える要因として保全上の圧力になると指摘されていることから、構成資産 9 基を対象に水質調査を実施した。その結果、水温の上昇する夏季を含めた経月変化やアオコ出現状況の把握、アオコ発生の原因となる藻類の特定など、今後の水質管理に有益な情報を得た。

#### ・国際専門家会合の実施

世界遺産委員会登録決議文の追加的勧告 c)「史跡指定されている構成資産に対して準備されている整備基本計画を完成させること。その際、計画と保存の目的および顕著な普遍的価値の保護との間の整合性を確実に担保すること」への対応のため、令和 5 年 1 月 17 日（海外出席者：韓国 李惠恩氏）、1 月 19 日（オーストラリア マシュー・ウィンコップ氏）、1 月 26 日（アメリカ ダグラス・コマー氏）に、オンライン国際会議を実施した。その結果、現状の整備方針（案）について、国際的視点からの意見を聴取した。

### III 魅力創出・情報発信事業

#### 1 SNSを活用した広告配信およびデータ分析及び映像の活用

- ・世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の高い価値と魅力を国内外へ発信するため、令和 3 年度に制作した PR 映像を活用したターゲティング広告を実施。年度内計 4 回（6 月・10 月・12 月・2 月）の広告配信を通じて、認知度向上を図った。
- ・広告配信の結果データを分析し、興味・関心層の把握及びコンテンツの検討を重ね、配信ごとにより広告効果を高めることを目的としたターゲットの絞り込みを行った。
- ・もずふる YouTube チャンネルでの配信を軸に、大阪観光局と連携のもと、中国最大の SNS「ウェイボー(Weibo=微博)」において、インフルエンサーを活用した投稿を実施。
- ・大阪市内観光案内所やもずやんバースデー等における放映。
- ・総再生回数 815 万回※（令和 5 年 3 月 17 日時点）  
※内訳 YouTube765.3 万回 weibo 49.9 万回

#### 2 百舌鳥・古市古墳群ホームページに動画特設ページ新設

- ・デジタルマーケティング事業の効果を高めることを目的とし、動画特設ページ（英語・日本語）を新設した。具体的な内容は下記の通り。
- ・PR 映像に登場するスポットそれぞれの位置情報と HP リンクを掲載。
- ・HP リンクには各市や大阪観光局のページを積極的に活用し、相互アクセス増を図った。
- ・4 月～2 月の英語ページへの総アクセス数が令和 3 年度の約 12 倍に増加（令和 5 年 2

月末時点)

### 3 情報発信ツールの作成・整備

- ・エリア内の周遊促進のためのツール「もず・ふるカード」を改訂した。
- ・ウォーキングマップについて、ユーザーの声を反映し、掲載情報を改訂した。
- ・「Discover 百舌鳥・古市古墳群」について、掲載情報を改訂した。

### 4 価値理解促進事業の実施

- ・世界遺産 百舌鳥・古市古墳群の学術的な価値理解を深めていただくため、「百舌鳥・古市古墳群に魅せられて－調査と研究の最前線－」を令和5年3月18日に藤井寺市立市民総合会館にて開催した。(予定)。
- ・世界遺産としての高い価値について国内外に広く理解を深めていただくため、令和3年度に制作した「バーチャルツアー映像」3本の「英語版」を制作し、情報発信を行った。

### 5 民間事業者等との連携による情報発信

民間企業やその他団体等と連携・協力し、様々なツールや手法を活用したPRを実施した。

#### ① 民間企業との連携実績

連携先	連携内容
チーム関西 (合同会社ユー・エス・ジェイ 他)	・アプリ「Travel Contents」でのもずふるページ制作
株式会社近鉄百貨店	・Abeno and Tennoji Passport (HP) での情報掲載
NEXCO 西日本	・「お国じまんカードラリー」でのPR映像のリンク掲載
エイチ・ツー・オーリテイリング(株) ららぽーと EXPOCITY	・イベントでのPR映像の放映

#### ② その他団体等との連携

連携先	連携内容
大阪観光局	・ホームページへの掲載 ・高精細映像の配信にかかるPR連携
大阪文化芸術創出事業実行委員会	・大阪文化芸術フェス 万博記念公園プログラムでのPR映像の放映

一般財団法人自治体国際化協会 関西観光本部	・ SNS・HP での記事掲載 ・ PR ツールの提供
羽曳野市立図書館	・ 電子図書館における発行図書の利用
大阪公立大学 他	・ イベント等での PR ツールの提供

## 6 世界遺産学習会の実施

百舌鳥・古市古墳群や世界遺産に関する理解を深めていただくため、府内博物館などと連携し、学習会を開催した。

No	連携先	日時	内容	参加者数
1	日本医学検査学会	5月21日	講義	約300名（当日参加） ※この他、オンデマンド配信
2	公募型府政学習会	7月23日	講義	49名

## 7 その他

① ホームページ（日・英）の活用（令和4年4月～令和5年2月末）

セッション数	<u>278,675（前年度比 96.3%）</u> （内） 日本語 247,624（前年比 86.3%） 英 語 31,051（前年比 1264.3%）
ページビュー	<u>363,093（前年度比 94.3%）</u> （内） 日本語 326,360（前年比 85.5%） 英 語 36,733（前年比 1116.5%）

② 後援名義使用承認数 6件（R4年度実績5件）※2月末時点

③ シンボルマーク・ロゴ使用承認数 10件（R3年度実績13件）※2月末時点